

一般会計予算に対する討論(要旨)

公明党



文化・芸術振興や子育て・教育など
ソフト面のまちづくりの着実な実行を

- ▶ 公会計制度の円滑な導入により、財政の見える化が進むことを期待する。
- ▶ 「食べきり協力店」の募集・紹介、学校のトイレ改修事業、第一小学校のサマー学童保育所、子どもの学習支援事業の開始等について高く評価する。
- ▶ シティプロモーションやフェアアートの活用など文化振興の取り組みを一層推進されたい。
- ▶ 訪問理美容サービスやハチの巣駆除補助金の廃止は、新たな事業としての構築も含め復活を検討されたい。

たちかわ自民党・安進会



行政経営の視点に立ち
「恐れず、怯まず、丁寧に」予算執行を

- ▶ 新年度予算が第4次長期総合計画の前期基本計画や各個別計画に基づき、施策や事務事業の重点化を図る取り組みや持続可能な行財政運営のさらなる推進を重視していることを評価する。
- ▶ これから人口減、税収減が予想される中、行財政改革を堅持し、安全・安心をより重視する視点を持ちながらさらなる改革に取り組みされたい。
- ▶ 広域連携サミットなどの事業を評価し、それらを牽引する市長の卓越したリーダーシップに期待する。

日本共産党



今、地方自治体に求められているのは
市民福祉の増進と市民の暮らしを守ること

- ▶ 若葉町の小学校の統廃合では、保護者や住民との丁寧な合意形成を求める。
- ▶ 小学校単独調理校を存続し、難病手当や家具転倒防止器具給付等の廃止・削減は見直しを。
- ▶ 雨水対策や生活道路、公園の整備などの市民要望に応え、公共施設整備基金の有効活用を求める。
- ▶ 横田基地へのオスプレイ配備に反対すべき。
- ▶ 保育園・学童保育所の待機児童対策は、さらなる取り組みを求める。

民進党・市民フォーラム



人を育てるための予算の拡充へ
舵を切ったことを大いに期待

- ▶ 防災・防犯の取り組みでは、マンホールトイレの整備などを評価するとともに、学校の防犯対策など現場の実情に即したさらなる取り組みを期待する。
- ▶ 待機児問題に積極的に取り組んできたことを評価するとともに、病児保育室の充実を含め、保育士の確保や質の充実にさらに注力されたい。
- ▶ 子ども未来センターを中心とする発達支援事業が、総合的機能となるよう期待する。
- ▶ 安全な給食への徹底した対策を講じられたい。

緑たちかわ



子どもの貧困についての実態を把握し、
新たな政策を作りだすべき

- ▶ 都が実施した「子供の生活実態調査」を活用し、子どもの実態を把握し、新たな貧困対策の打ち出しを。
- ▶ マイナンバーカードでの住民票等のコンビニ交付は、1枚が3,128円もかかり、不必要な事業です。

立川・生活者ネットワーク



「住みたいまち、住み続けたいまち」に向け、
市民との協働によるまちづくりを

- ▶ まちの維持に経常経費は必要。市独自の施策に予算づけをし、立川らしさが打ち出されることを期待。
- ▶ 地域経済の活性化、新しい住民にあう柔軟な施策等を進め、住みたいまちづくりのさらなる推進を。

ふるさと納税の見直しの訴えを

意思表示をしていきたい
大沢 豊(緑たちかわ)



問 ふるさと納税の大きな趣旨は、大都会の財源を過疎の自治体など財源の少ないところへ回すというものであったはずですが、しかし過疎の自治体のうち22団体は返礼品をそろえる余裕も人員もなく赤字です。一番納税額の大きかった宮崎県都市は42億円の収入で返礼品に32億円を使っておも、本来の税以外の目的に消えています。自治体間の不毛な競争で、税金が失われていく制度だと三多摩各市と協働して国に訴えるべきです。

答 税収や地方交付税だけで賄うことが苦しい地方の創生という概念で発足したのが、ふるさと納税制度です。総務省からは過度の返戻金券でお返しすることもあって聞いており、制度の趣旨を逸脱していると認識しています。一般的には住民税は、そこに住んでいる方の会費という原点があると考えているが、本市では住民税の基礎控除支出が多く赤字となっています。ふるさと納税については、いずれかの席で意思表示していきたい。

給食でのアレルギー対策の見直しを

子どもの実態を正しく把握できるよう改善を図る
伊藤 大輔(民進党・市民フォーラム)



問 2月、1週間後の給食で使用立表を確認し、アレルギーがある場合は学校に申し出てくださーいという手紙が、子ども経由で出されました。この方法では漏れがないのか疑問です。100パーセント把握しないと命にかかわるため、以前の事故発生以来、自己申告制を改め全家庭からの聞き取り義務に変更したはずですが、もし前提だった確認を漏らさないための調査方法を崩したのであれば、見直すべきです。

答 学校では年度初めに1回保健初の調査が非常に重要で、この最アレルギーに起因する食物の列挙をお願いしていますが、この年1回の調査では学校により把握できていない学校があったことから、今回の文書を配布しました。今後、年1回の調査の中で、学校と教育委員会で徹底してアレルギーの食物や、どういったアレルギー反応を起こすかを正しく把握できるように、来年度に向け改善を図りたい。

インターネット中継をご利用ください



市議会のインターネット中継で
本会議と委員会の様子がご覧いただけます

立川市議会では、本会議・常任委員会のインターネット中継を行っています。ライブ中継は会議開始から終了まで行い、会議のおおむね3日後(土曜、日曜、祝日を除く)から録画配信を行います。

インターネット中継は下記リンクからご覧ください
(パソコン・タブレット・スマートフォンでご覧になれます)
<http://smart.discussvision.net/smart/tachikawa/>



市議会ホームページQR
(インターネット中継)

砂川中央北側地区まちづくりの推進を

引き続き勉強会をサポートしていく
須崎 八朗(たちかわ自民党・安進会)



問 砂川中央北側地区のまちづくりについては、勉強会が開催されています。この3年で何回開催されるのか、何人の方が参加しているのか伺います。また、参加されている方が他の方を巻き込んで、多くの方が参加されるようになるのと思いますが、行政側からは働きかけをされるのでしょうか。地権者全員が参加され、その時点で地権者に共通認識が芽生えたと判断し、勉強会は中止となるのでしょうか。

答 砂川中央地区E地区における勉強会は、平成26年3回、27年に5回、28年は7回と視察を1回行いました。これまでに、主に都市計画道路の計画線の中の約40人の地権者のうち、1回7、8名の方が参加されていますが、地区全体で同じビジョン、方向性を持たせたいという状況ではないと考えております。基地跡地と同様まちづくりを進めていけるよう、引き続き裏方に回り勉強会のサポートをしながら、一歩一歩進めていきたい。